

＜地方創生への取組み＞

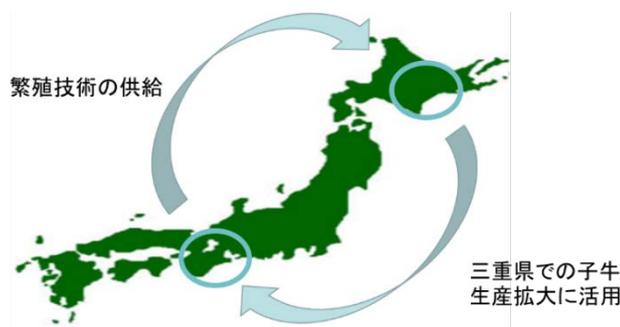
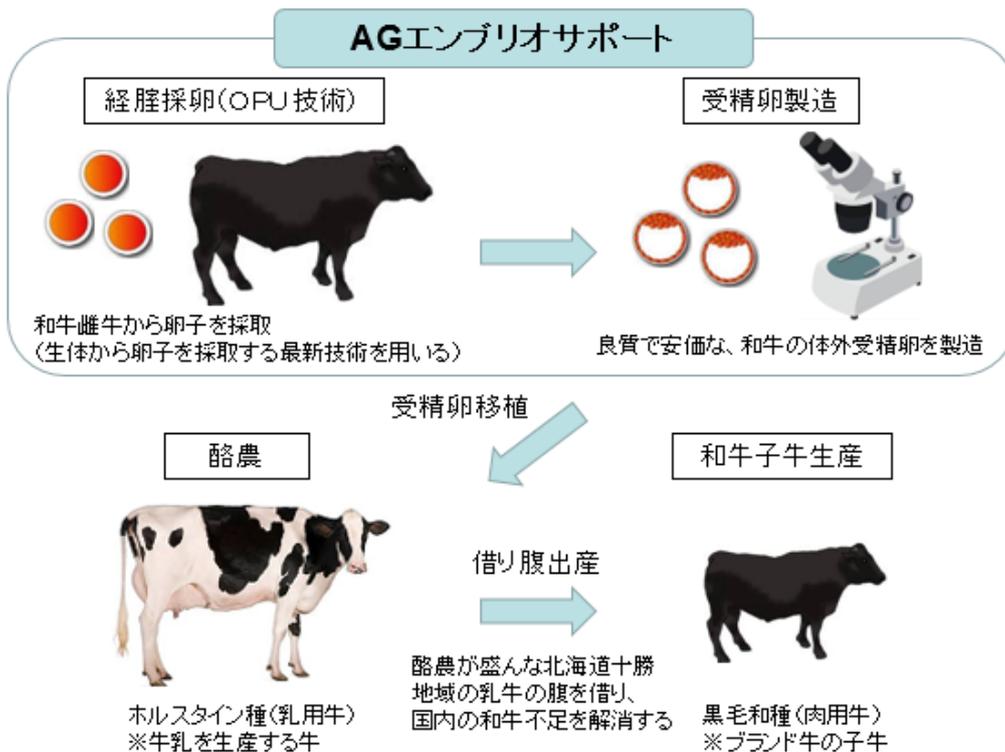
地域の課題解決に向けたプロジェクトへの出資について  
～畜産イノベーション「ホルスタインから和牛を」～

株式会社百五銀行（頭取 伊藤 歳恭）、株式会社みずほ銀行（頭取 藤原 弘治）、百五リース株式会社（代表取締役社長 國分 昭男）および株式会社農林漁業成長産業化支援機構（代表取締役社長 光増 安弘）が出資する「百五 6 次産業化ファンド」は、下記のとおり、AGエンブリオサポート株式会社（北海道帯広市、代表取締役 長宗 純一）に対して、50 百万円を出資することを決定いたしました。

同社は本ファンドを活用して、国内の和牛子牛不足を解消すべく、大酪農・畜産地帯である北海道十勝地域に体外受精卵培養センターを建設し、新鮮な体外受精卵を一貫大量生産する体制を整備します。将来的には、蓄積した技術を三重県へ持ち帰り、世界的なブランド牛「松阪牛」の子牛を肥育する生産基盤構築において、重要な役割を果たすことが期待されます。

記

1 プロジェクトスキーム



## 2 出資概要

投資先	北海道帯広市西2条南16丁目1-2 ホワイトパレス302号 AGエンブリオサポート株式会社 代表取締役 長宗 純一 氏
出資決定額	50,000,000円
出資形態	株式（第三者割当増資）の引受け
出資予定日	平成29年4月28日
資本金 <sup>(*)</sup>	100,000,000円
株主 <sup>(*)</sup>	株式会社エージートレーディング 株式会社決断サポートほか 百五6次産業化ファンド
事業内容 今後の展望など	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道十勝地域の酪農および肉牛生産業者からの受精卵需要に応えるべく、体外受精卵培養センターを立ち上げ、国内初となる良質で安価な体外受精卵の大量生産を行う。</li> <li>将来的には、拠点を構える北海道十勝地域だけでなく、国内すべての肉用牛生産者からの受精卵需要に応え、子牛不足解消に寄与する取組み。</li> </ul>

※本件出資後

### 【ご参考：本ファンドの概要】

名称	百五6次産業化投資事業有限責任組合（百五6次産業化ファンド）
総額	5億円
運営者	百五リース株式会社
出資者	株式会社百五銀行 株式会社みずほ銀行 百五リース株式会社 株式会社農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）
設立日	平成26年1月1日
存続期間	15年間

以上